

【事業周知】

- 同様の補助制度を持つ民間事業者等との合同説明会の開催
⇒4/15,8/5に助成金合同説明会を実施
- 近年の様々な媒体による周知効果や団体の負担、効率性を勘案し活動報告等をホームページ等で広く発信
⇒長崎市のHP等で発信

【補助金申請書】

- 書きやすい様式に変更
- 申請書を書くことで頭の整理
- 書き方の支援・研修の実施
⇒申請様式の見直し

団体の
自立支援
(組織力強化)

【対象要件】

- 人材育成補助金(開催)
集客数の緩和
⇒最低催行人数20人を15人へ引き下げ

【市民活動支援補助金】令和7年度 市民活動支援補助金の申請件数

令和7年度 申請件数

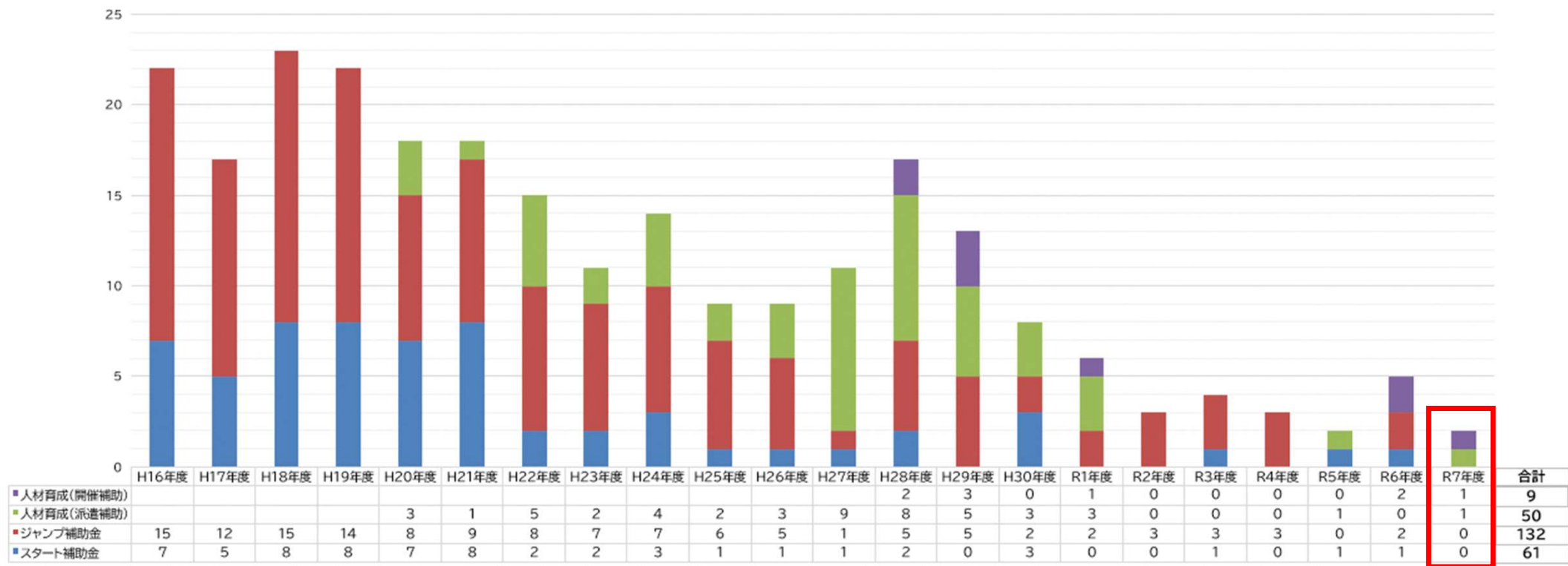
● 市民活動人材育成補助金(開催補助) 1件

● 市民活動人材育成補助金(派遣補助) 1件

● ジャンプ補助金(派遣補助) 0件

● スタート補助金(派遣補助) 0件

申請件数の推移



※ H16年度より開始

【市民活動支援補助金】結果を踏まえた要因の分析と今後の対応

1 相談者から聞いた生の声



- プレゼンや報告など**手間がかかる**
- 全額補助ではないため、団体の**手出しが必要**
- 助成対象の費目に制限が多く**利便性が低い**
- 新たな事業に取り組むフェーズでない
- 新規性や貢献度、**成果を求められる**
- クラウドファンディングやマンスリーサポーター（継続寄付）に取り組む団体が増えつつある

3 市民活動支援補助金以外の助成金の活用

- 合同説明会に参加した他の助成金に申請が流れている
 - ▶「九州ろうきんNPO助成」(九州ろうきん)
R7年度(応募22件、採択8件)
 - ▶「ファーストペンギン応援事業」(社会福祉法人長崎県共同募金会)
R7年度(応募14件、採択10件)
- その他の事例
 - ▶「県民ボランティア振興基金」(公益財団法人県民ボランティア振興基金)
R7年度(応募42件、採択36件)

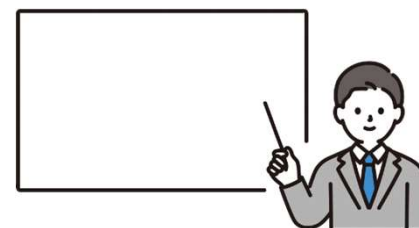
2 全国の市民活動団体向け助成プログラムの傾向

2024年度市民活動団体向け助成金レポート(長崎市市民活動センター「ランタナ」による調査)
調査対象:市民活動団体向け助成プログラム300件

- 助成団体の**93.3%が民間の企業・財団**
- 企業の社会貢献や行政の外郭団体などの助成が増加。
- **資金使途やその後の報告が不要なものも増加**している。
- **補助率で最も多いのは「制限なし」の264件(88%)**
- **活動実績を問わず新規団体でも申請ができる(73.3%)**

使いやすい!

4 今後の対応



- ▶R8は合同説明会をはじめとして、団体アンケート結果や団体ヒアリングによるアプローチを行う。
- ▶R8の申請状況を注視しながら、根本的な制度の見直し、制度廃止も視野に入れ、本補助制度の在り方を検討する。

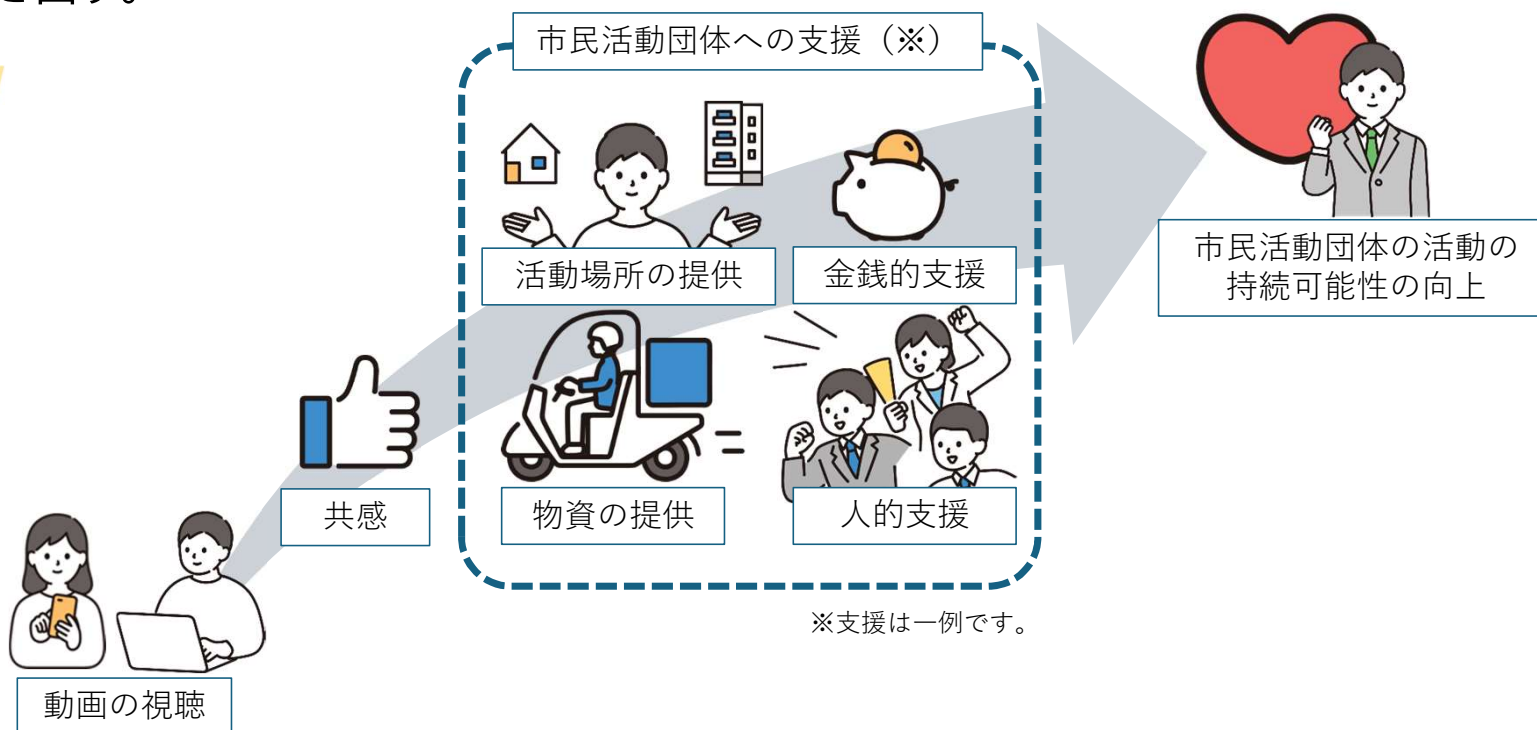
【行政提案型協働事業】ながさきダンカーズ倶楽部×市民協働推進室 提案型協働事業

●概要

人口減少に伴う多様な市民ニーズに対応するため、市民活動団体の重要性が高まっているが、財政基盤が脆弱で会員の高齢化など課題を抱えている。活動の持続可能性を高めるには、各団体が抱える悩みを企業など様々な主体と共有し、連携することが不可欠である。

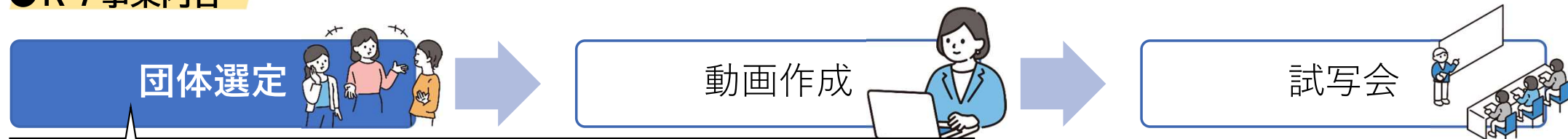
従来の「団体＝活動」の広報から転換し、市民活動団体との協働により課題解決への姿勢やリーダーの思いなどを伝える動画を制作。この動画を活用した情報発信と企業等への直接アプローチにより、協働相手からの共感と支援を引き出す。

●事業イメージ



【行政提案型協働事業】ながさきダンカーズ倶楽部×市民協働推進室 提案型協働事業

●R7事業内容

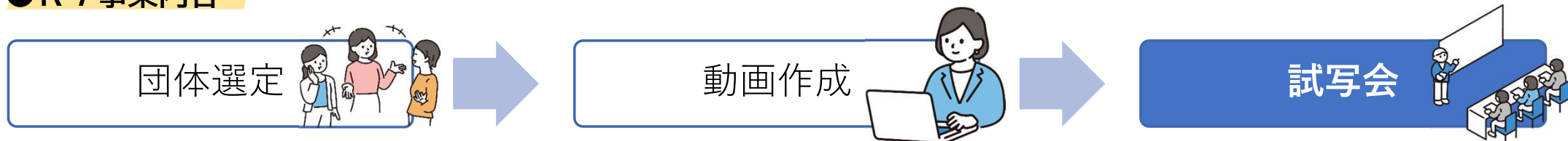


- ①若い世代がリーダーとして活動している
- ②行政も課題認識しているが、十分に手が届いていない活動分野
- ③活動を広く発信しており、他者に知ってほしい思いがある

【選定団体】

	団体名	活動内容
1	ゆめカステラプロジェクト	摂食嚥下障害の啓発、美味しく食べやすい食品の開発
2	ニュースタ長崎	スポーツの環境におけるトレーナーの斡旋および救護トレーナー活動。怪我の応急処置やストレッチ、トレーニング、動作指導等の講義。トレーナー育成。
3	ながさき海援隊	①海浜清掃 ②地域や子どもたちにごみ問題の関心を持ってもらう。 ③漂着ごみ問題に関する情報の収集・研究。④使い捨て容器やリサイクル問題等、ごみ問題の根本的解決に対するアプローチ。⑤漂着ごみ問題に関する社会的課題についてのアプローチ。
4	Take it! 虹	セクシュアル・マイノリティに関心を抱く方を対象とした交流会を開催。県や学校からの依頼でセクシュアル・マイノリティに関する啓発や講演活動も行っている。
5	ながさき食物アレルギーの会 ペンギン	食物アレルギーに関するおしゃべり会の開催、入園入学準備講座の開催、エピペン（アナフィラキシーに対する緊急補助治療薬）講習会の開催 など。

●R7事業内容



試写会のお知らせ

3/25 (水曜日) 18:30~
長崎市役所 2階 多目的スペース



ゆめカステラプロジェクト



ニュースタ長崎



ながさき海援隊



Take it! 虹



ながさき食物アレルギーの会
ペンギン

● R8事業内容

動画制作

団体選定



▶ 3～4団体の予定

動画作成



多様な
主体と
繋げる



つなぐ場の開催

様々な主体へつなぐマッチングイベントの開催（夏頃予定）



つなぐ情報の発信

SNSほか、さまざまな媒体を活かした情報拡散



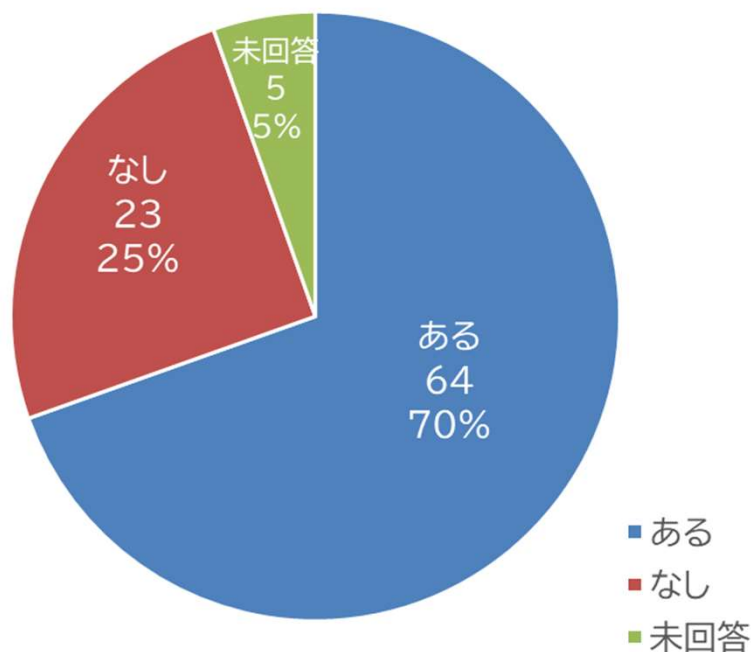
マッチング活動

お互いのネットワークを活かした「つなぐ」活動

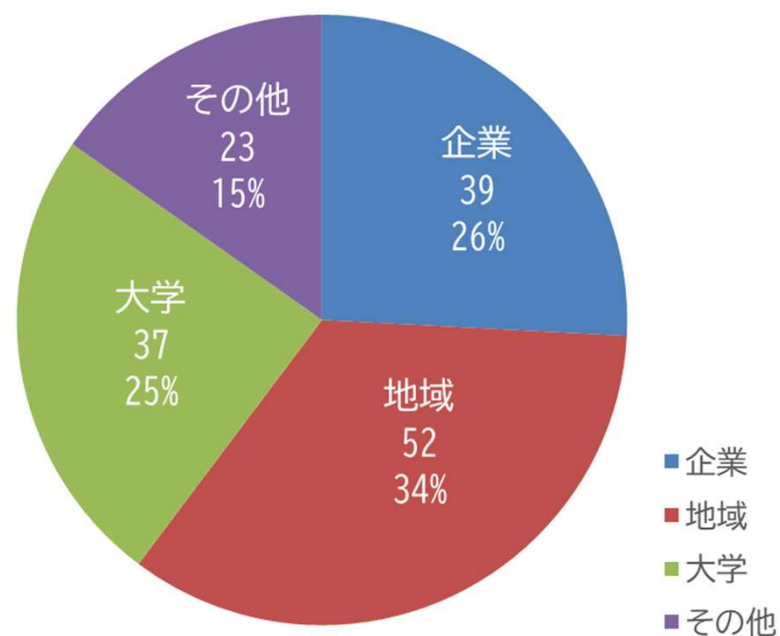
「市民活動団体と多様な主体との連携可能性アンケート」集計結果（一部抜粋）

- ▶目的:市民活動団体と企業や地域、大学などの多様な主体との連携を促進するため、団体のニーズを調査するもの。
- ▶調査期間:R8.2.10~R8.3.11
- ▶調査対象:市民活動登録団体170団体/回答率54%(92団体)

Q1-1 連携を希望する主体がありますか？

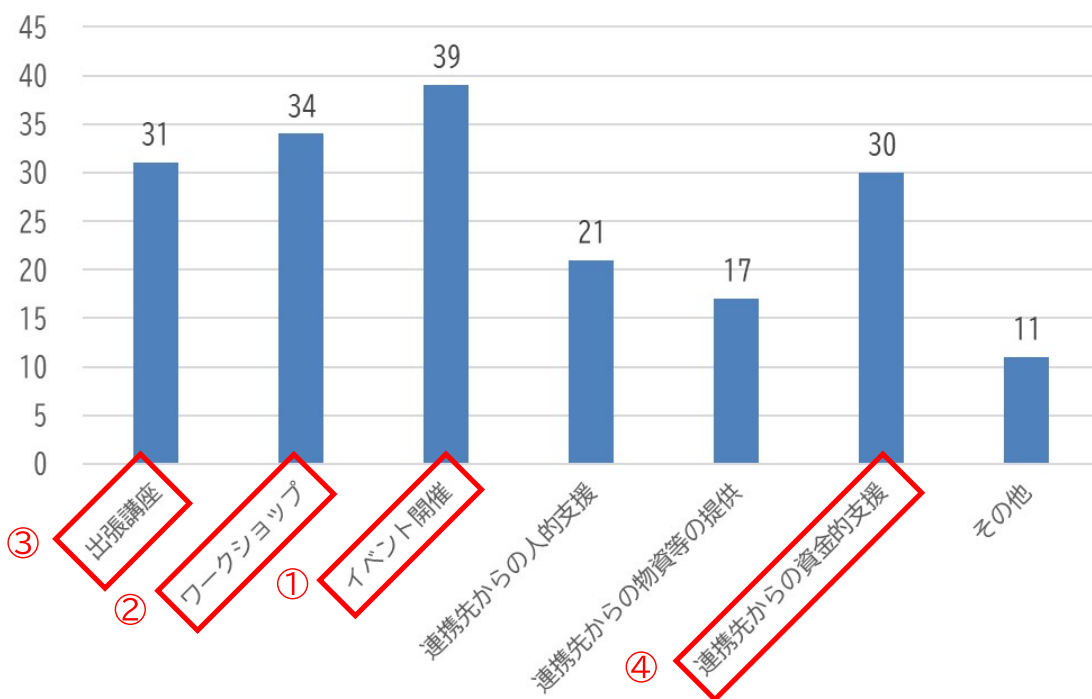


Q1-2 連携したい主体を選択してください。
(複数回答可)



「市民活動団体と多様な主体との連携可能性アンケート」集計結果（一部抜粋）

Q2 連携を希望する内容について（複数回答可）



Q5 多様な主体との連携について意見（一部抜粋）

- ・ 現活動においては連携を想定していないが、今後、連携が必要となった場合の仕組みやプラットフォームがあるとありがたい。
- ・ 場所の確保と広報、参加者募集が課題になるので力を貸してほしい。
- ・ 企業からの物資提供はこれまで動くことが出来ていないため、流れが作れると助かります。
- ・ 連携を希望する主体について、どのようなことができるのか、どのようなことを求めているのかなど、一目でわかるものがあれば、連携を求める際に連絡しやすい。

（Q3具体的にどのような連携ができますか。Q4連携内容の公開を希望しますか。省略） 9